

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国際交流の推進				整理番号	124		枝番号		
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	3784		昨年度整理番号	120	
係名		交流推進担当			上位施策名				No		
予算事業名		文化・交流の推進		コード	12050	交流と平和の推進				68	
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		2 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区・ウィロビー市友好協定						
	区内在住・在勤・在学				(2) 杉並区・瑞草区友好協定						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		友好都市(オーストラリア・ウィロビー市、韓国ソウル特別市瑞草区)等の代表団や親善訪問団の派遣や受入を行う。 他課・他団体が友好都市等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区民等が、文化・スポーツをはじめさまざまな分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。						
活動指標名(式)		(1) 友好都市訪問者数・来訪者数 (2) 友好都市との交流機会提供数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 友好都市との交流事業参加者数 (2) 国際交流事業参加者数							
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
指標	活動指標(1)		人	66	68	計画	実績	111	80	100.0	
	活動指標(2)		回	3	4	3	4	4	4	100.0	
	成果指標(1)		人	146	68	650	361	790	500	72.2	
	成果指標(2)		人	3,735	2,565	3,000	2,373	2,500	3,000	79.1	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	3,841	3,541	9,000	6,436	21,482	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 他課・他団体の事業を含む。		
	(内)投資的経費等		千円								
	(内)委託費		千円					5,524			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.95	1.10	1.00	1.24	1.24			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	8,544	10,010	9,060	11,234	11,234		
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0		
	総事業費 + +		千円	12,385	13,551	18,060	17,670	32,716			
	単位あたりコスト(-)÷		円	187,652	199,279	582,581	220,875	294,739			
	財源	受益者負担分		千円				475	140		
		国・都等からの支出金		千円					1,800		
特定財源計 +		千円	0	0	0	475	1,940				
差引:一般財源 -		千円	12,385	13,551	18,060	17,195	30,776				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	2.7	0.4				
17年度の主な取組み		内 容				規模	単位	事業費(千円)			
		ウィロビー市友好提携15周年記念事業				1	式	3,038			
		瑞草区との中高校生交流事業				1	回	2,263			
		その他				1	式	1,135			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	258.1	活動指標(2)の17年度達成率%	133.3	17年度予算執行率%	71.5
		訪問者・来訪者数は予想より増加したが、予算の執行を必要としなかったものがあつたため、執行率は低目となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		・瑞草区との10年アクション・プログラムに基づき、事業(平和ポスター/絵画合同展示会、中高校生交流会)を着実に実施した。 ・平成18年度は、2006日豪交流年に伴う親善訪問団のウィロビー市派遣、友好提携15周年に伴う記念式典への代表団の瑞草区派遣を行うため、予算が大幅に増額している。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	国際化が進み、海外へ出かける人・日本を訪れる外国人がともに増加。特に近年の韓流ブームにより、韓国を訪れる人や興味を持つ人が増えている。H18年4月1日付けで文化・交流協会の改組(交流協会の発足)。在留外国人は区内で1万人を超え、国籍も90カ国以上と多様化。国際交流事業を行うNPO、団体の増加。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	次世代に続く交流をしてほしい。友好都市についてはPRが不足している。民間団体中心で区や交流協会が支援する形での交流を進めるのが良い。交流についての情報提供など。					
	今後の予測	ボランティア団体、NPOを中心とした交流が進むと予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市の住民との交流の機会を作り出している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 瑞草区との10年アクションプログラムの事業内容を具体化する際、関係部署と十分に打ち合わせを行い、内容の充実に努める。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 中高校生交流会における派遣・受入では、一部自己負担を実施している。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最低限のコストで実施しているため。					
	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 補助金助成を行う。						
(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)							
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国際交流に関しては、情報収集・提供に努め、区民の自主的な交流活動を促進していく。 2012年まで、瑞草区とは10年アクション・プログラムに基づき交流を進めていく。 他課が実施する交流事業が円滑に遂行できるよう、連絡調整を的確に行う。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の派遣・受入に関しては、国際情勢を見ながら対応していく必要がある。また、杉並区だけでは事業内容を決められないので、交流と使途の協議が必要となる。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input checked="" type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	単年度事業であるウィロビー市親善訪問、及び瑞草区友好提携15周年記念訪問にかかる経費が減となるため。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流の推進				整理番号	125	枝番号				
担当部課名		区民生活部文化・交流課		コード	051201	連絡先電話番号	3784	昨年度整理番号	121			
係名		交流推進担当			上位施策名			No				
予算事業名		文化・交流の推進		コード	12050	交流と平和の推進			68			
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		1年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区・吾妻町友好協定							
	区内在住・在勤・在学				(2) 杉並区・風連町交流協定							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		友好・交流都市 (群馬県吾妻町/現東吾妻町、北海道風連町/現名寄市) 等の代表団や親善訪問団の派遣や受入を行う。他課・他団体が友好都市等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区民等が、文化・スポーツをはじめさまざまな分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増える。							
活動指標名(式)		(1) 友好都市訪問者数・来訪者数 (2) 友好都市との交流機会提供数		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 友好都市との交流事業参加者数 (2) 国内交流事業参加者数								
区分		単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値22年度	目標値に対する17年度の達成率%			
指標	活動指標(1)		人	383	360	計画	実績	348	415	383	450	92.2
	活動指標(2)		回	16	14	15	13	14	15	86.7		
	成果指標(1)		人	443	714	435	741	480	800	92.6		
	成果指標(2)		人	3,211	2,252	1,250	2,354	1,750	2,000	117.7		
総事業費・コスト把握	事業費		千円	533	829	1,286	1,064	1,286	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 他課・他団体の交流事業も指標に含む。			
	(内) 投資的経費等		千円									
	(内) 委託費		千円									
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.73	0.86	0.75	1.00	1.00				
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	6,566	7,826	6,795	9,060	9,060			
		非常勤職員分		千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	7,099	8,655	8,081	10,124	10,346				
	単位あたりコスト(-) ÷		円	18,535	24,042	23,221	24,395	27,013				
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0					
差引: 一般財源 -		千円	7,099	8,655	8,081	10,124	10,346					
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
17年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)			
		友好自治体との交流事業等への区代表団派遣					1	式	569			
		その他					1	式	495			

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	119.3	活動指標(2)の17年度達成率%	86.7	17年度予算執行率%	82.7
		来訪者・訪問者数は予想より増加したが、予算の執行を必要としなかったものもあったため、やや低めの執行率となった。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		文化・交流協会(現:交流協会)が運営するコミュかるショップでの物産販売において、友好都市のほか個別協定を結んでいる自治体の物産も取り扱うようにし、交流のある自治体のPRに努めた。 吾妻町(現東吾妻町)の物産展を区役所玄関で定期的開催し、町のPRを図った。さらに、商店会や各区民センターで同様に実施するため調整を行うよう指導し、会場を全区的に広げた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	吾妻町(現東吾妻町)・風連町(現名寄市)で開催されるまつりへの阿波踊り訪問団派遣事業は、13年度から文化・交流協会(現交流協会)へ移行。新潟県小千谷市との「災害時相互援助協定」の締結により都市間の交流が始まり、共催事業を定期的に行っている。福島県北塩原村との「まるごと保養地協定」の締結により、区役所1階コミュかるショップ(交流協会運営)で特産物の販売を行っている。福島県原町市(現南相馬市)との「災害時相互援助協定」の締結により、双方のお祭りへ代表団を派遣するなどの交流が始まった。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	小中学生交流や自然体験などの教育分野、物産展や特産物のあつ旋などの産業・経済分野、保養地などの観光分野での交流を進めてほしい。					
	今後の予測	友好・交流都市提携以外の個別提携を結んだ自治体との交流事業が、より盛んになると思われる。また、地方観光都市などから当区への交流アプローチが引き続き増えると思込まれる。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: 友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市との住民との交流の機会を作り出している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 事業費・活動量の増加(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 友好・交流都市及び個別提携都市との交流事業の種類や内容を多様化する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 代表団は受益者に該当しないため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要最低限のコストで実施しているため。					
	(5) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
協働等点検	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題 補助金助成を行う。					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減						
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 交流協会が運営するコミュかるショップでの、友好都市等の物産販売に併せたPRの拡充を図る。 経済交流については関係課・関係団体と調整を図り、物産販売等区民を中心とした交流が進むよう留意する。 他課が実施する交流事業が円滑に遂行できるよう、連絡調整を的確に行う。						
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 杉並区だけは事業内容決められないので、相手都市との協議が必要となる。						
19年度方針	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由	友好・交流都市の市町村合併による自治体名変更に伴う紹介パンフレットの作成費用の増。					

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名	平和都市宣言関連事業の推進	整理番号	126	枝番号	
担当部課名	区民生活部文化・交流課	コード	051201	連絡先電話番号	3793
係名	男女共同参画推進担当	コード	11750	昨年年度整理番号	122
予算事業名	平和事業の推進	上位施策名	交流と平和の推進		No
					68

事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	1年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業	
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理	根拠法令等		
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他	(1) 杉並区平和都市宣言 (2) (3)		
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) ・平和のつどいを年2回(8月、3月)に開催する。 ・平和ポスターコンクールを年1回(3月)に開催する。 ・非核宣言自治体協議会の全国大会へ年1回参加し、自治体間の連携を図る。 ・核実験等に対する抗議文を送付する。	事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民一人ひとりが、平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深めることにより、世界の恒久平和に寄与する。		
	活動指標名(式) (1) 平和のつどい参加者数 (2) 平和ポスターコンクール応募者数	成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 平和のつどい参加者のうち初めて宣言を知った人 ÷ 全参加者数 (2) 平和のつどい参加者のうち戦後生まれの人 ÷ 全参加者数		

区分	単位	15年度実績	16年度実績	17年度		18年度計画	目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%	
				計画	実績				
指標	活動指標(1)	人	1,879	1,203	500	403	500	80.6	
	活動指標(2)	人	475	543	550	895	550	162.7	
	成果指標(1)	%	51	58	50	56	50	101.8	
	成果指標(2)	%	35	60	60	45	60	69.2	
総事業費・コスト把握	事業費	千円	5,292	3,061	2,403	2,891	2,602	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等	千円	0	0	0	0	0		
	(内)委託費	千円	2,604	909	242	484	242		
	職員数(常勤 非常勤)	人	0.89	0.85	0.90	0.88	0.90		
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,005	7,735	8,154	7,973		8,154
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0		0
	総事業費 + +	千円	13,297	10,796	10,557	10,864	10,756		
	単位あたりコスト(-) ÷	円	7,077	8,974	21,114	26,958	21,512		
	財源	受益者負担分	千円	0	0	0	0		0
		国・都等からの支出金	千円	0	0	0	0		0
特定財源計 +		千円	0	0	0	0	0		
差引:一般財源 -		千円	13,297	10,796	10,557	10,864	10,756		
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			

17年度の主な取組み	内 容	規模	単位	事業費(千円)
	連携・啓発及び抗議			1,247
	8月のつどい	1	回	955
	平和ポスターコンクール	1	回	441
	3月のつどい(委託等)	1	回	248
	その他 ()			0

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	80.6	活動指標(2)の17年度達成率%	162.7	17年度予算執行率%	120.3
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		8月の平和のつどいで「平和への構築に向けて、どのような取り組みが必要なのか」ということについて、前国連軍縮会議議長猪口邦子氏の講演会を行った。と同時に、小型武器や少年兵の描いた絵の展示、「国境なき医師団」などの国際NGOの活動の紹介などを通して、戦後世代も含めたより多くの世代の区民が、現代の平和への関心を高められるようにした。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	世界と日本の平和をめぐる状況が変わってきている。昨年、国連で開かれた核不拡散条約(NPT)の再検討会議が事実上決裂し、国際社会における核保有・核拡散が大きく懸念されている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	平和のつどいに対し「小・中学生が関心をもつような企画にしてほしい」「日本の戦争被害のほか加害状況についても取り上げる必要がある」という意見がある。					
	今後の予測	日本の国連の中での役割の変化や国際的な平和構築に向けての積極的な協力について、国民の議論が深まる。戦争体験者の高齢化が進み、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えていく区の役割と責任は重くなる。区が、平和事業を進めていく重要性は増大していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由:世界の恒久平和に対する区民の意識を直接高める事業を実施している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:地域団体等を支援し、さまざまな平和事業を展開していく。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:趣味や文化活動とは異なり、平和意識の啓発には、受益者負担は適さない。					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:現在も、必要最低限の経費で行っている。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題 ・平和ポスターコンクールの実施にあたり、杉並ユネスコ協会と協力して、平和学習の支援や表彰式を行った。 ・8月のつどいで、区内唯一の被爆者団体「杉並光友会」による「原爆と人間展」を行った。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平和の尊さや戦争の悲惨さを伝え、平和に対する現代的な課題を取り上げ、市民レベルから平和を希求する道を探っていく。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 世界と日本の平和をめぐる状況を常に把握し、平和のつどい等に事業化していくための調査・研究を重ねていく。地域で平和事業が行われるように、他の部署と連携を図っていく。						
	(1) 19年度予算見積りの方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減		<input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし			
(2) 理由 杉並区は平成20年3月30日に平和都市宣言20周年を迎える。杉並区平和カレンダーを小・中学校を始め、より多くの関係部署に配布し、「世界の平和のために何が必要であるか」を考える契機としていく。							

平成18年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国内交流事業				整理番号	448		枝番号					
担当部課名	児童青少年課			コード	092709		連絡先電話番号	4402		昨年度整理番号	436			
係名 事業係					上位施策名					No				
予算事業名 児童健全育成事業					コード	43550		交流と平和の推進			68			
事務事業の概要	事業開始年度 <input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成				3 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業							
	事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理				根拠法令等									
	対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区都市交流実施要領 (2) (3)									
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順) 区内在住の 小学4年生～6年生(吾妻30名、風連25名)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 子どもどうしの交流をとおして、友好都市の文化、生活、風土等の理解を深めることにより、児童の健全育成を図る。									
	活動指標名(式) (1) 参加者数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 応募者数 (2)									
区分		単位	15年度実績		16年度実績		17年度		18年度計画		目標値 22年度	目標値に対する17年度の達成率%		
							計画	実績						
指標	活動指標(1)		人	75		51		70		81		55	147.3	
	活動指標(2)													
	成果指標(1)		人	91		56		90		118		80	147.5	
	成果指標(2)													
総事業費・コスト把握	事業費		千円	4,691		2,604		5,295		4,366		3,295	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)	
	(内)投資的経費等		千円											
	(内)委託費		千円											
	職員数(常勤 非常勤)		人	1.20	0.00	1.20	0.00	1.70	2.00	1.20	0.00	1.20		0.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	10,793		10,920		15,402		10,872			10,872
		非常勤職員分		千円	0		0		5,780		0			0
	総事業費 + +		千円	15,484		13,524		26,477		15,238		14,167		
	単位あたりコスト(-)÷		円	206,453		265,176		378,243		188,123		257,582		
	財源	受益者負担分		千円										
		国・都等からの支出金		千円										
特定財源計 +		千円	0		0		0		0		0			
差引:一般財源 -		千円	15,484		13,524		26,477		15,238		14,167			
受益者負担比率 ÷		%	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
17年度の主な取組み			内 容					規模	単位	事業費(千円)				
			杉並・風連子ども交流会(夏季・冬季)							3,938				
			杉並・吾妻子ども交流会							428				
			その他 ()							0				

平成18年度 杉並区事務事業評価表

17年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の17年度達成率%	115.7	活動指標(2)の17年度達成率%		17年度予算執行率%	82.5
		風連交流会について、杉並区実施の内容で、杉並区内各所を巡るプログラムを多く取り入れることで事業本来の趣旨を追求するとともに、移動に伴う経費を削減する工夫をした。					
前年度の改革案の取り組み状況 (18年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		応募者数の減少対策として、区内在学の全対象児童へのチラシ配布を実施しPRを強化した。その結果、成果指標の数字のとおり、応募者数の増加が見られた。					
事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度以降、吾妻交流会が2年越しでの相互交流となったため、とくに杉並区実施の年(15年、17年)は魅力に欠けるためか応募者・参加者ともに少ない。また、風連の中学生交流も、14年度以降隔年実施(15年、17年実施)となっている。さらに、参加者の状況を見ると、冬の風連交流会において、風連町側の中学生の参加が減少傾向にあり(15年度杉並24名に対し10名)、相互交流の観点から課題となっている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	小学生の交流については、概ね「よい経験になった」「町と町の交流は貴重」と、前向きな評価と事業継続への期待が寄せられている。					
	今後の予測	以前に参加経験のある子どもが再び応募するケースが徐々に増えてきている。この傾向は、風連町、吾妻町にも同様にあり、今後も続くことが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由: キャンプ等通常の野外活動と異なり、他都市の子どもどうしが生活体験を共有する事業は他に見られない。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 町散策や人的交流を拡充するプログラムの工夫により事業効果のある程度拡大できると思われる。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 参加費を拡大することによる参加者離れが懸念されるため。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 必要経費のため					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題: 学生ボランティア、参加児童の保護者にプログラム運営への協力を求めている。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)						
今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減					
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 応募状況の低迷化傾向が続くと思われる。参加者の重複や固定化を避けるため、全対象児童へのPRを当面続けるとともに、プログラム内容の一層の工夫が求められる。また、冬の中学生交流については、先方自治体の参加者が極端に少ないことが数年来続いており、事業の継続自体を見直す時期に来ている。						
19年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 風連町側と、今後のあり方についてさらに協議する。						
	(1) 19年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし					
	(2) 理由 対象者の事業離れに配慮しつつも、受益者負担を一部見直すことで既定経費の削減を図る方向を、先方自治体と協議する。						